

■伊藤大輔 脚本家、映画監督。“時代劇の父”として大河内伝次郎を、〈敗戦〉後には中村錦之介を大スターに。

いとうだいすけ

子規句歌革新1898＝ 愛媛県宇和島で、中学校教師の子に生まれる。

日露戦争終・1905＝ 7歳：

韓国反日暴動1907＝ 9歳：

大逆事件判決1911＝13歳： 松山中学に入学。伊丹万作らと同人雑誌を作り、中村草田男、大宅壮一らと文筆を競うなか。

明治天皇没・1912＝14歳：

民本主義・・・1916＝18歳：卒業。父が死去したため進学を諦め、呉海軍工廠に製図工として勤務するが、

宮地嘉六主宰の演劇グループに参加したため、労働組合との関係を疑われて退社、

大暴落・・・1920＝22歳：*文通していた小山内薫を頼って上京、伊丹万作と同居し、小山内主宰の〔松竹キネマ附属俳優学校〕に籍を置く。その推薦で〔松竹蒲田撮影所〕の第一作「新生」を執筆し、脚本家デビュー、以後、次々執筆。

原敬首相暗殺1921＝23歳：

関東大震災・1923＝25歳：〔帝国キネマ〕に転じて、

護憲三派圧勝1924＝26歳：国木田独歩原作の現代劇「酒中日記」で監督デビュー、続く時代劇映画「剣は裁く」で独特の話術を生出し、

治安維持法・1925＝27歳：〔東邦映画製作所〕〔連合映画芸術家協会〕などを経て、

円本時代始・1926＝28歳：独立して〔伊藤映画研究所〕を設立するも失敗し、〔日活京都撮影所〕に移り、「長恨」で同年齢の新人大河内伝次郎を起用、続いて「流転」、激しいシーンや大胆なカメラワークで注目を浴び、

金融恐慌・・・1927＝29歳：*名作「下郎」。自らの脚本で映画史上の金字塔になる「忠次旅日記」を製作して、評価は決定的なものになり、主演大河内・撮影唐沢弘光とともに「ゴールドトリオ」としてサイレント末期の日本映画界をリード。

共産党事件・1928＝30歳：「新版大岡政談」三部作で、「大河内伝次郎の丹下左膳」の人氣が不動に。

世界恐慌・・・1929＝31歳：「民衆の激怒」を描いた月形龍之介主演「斬人斬馬剣」、市川右太衛門プロとの「一殺多生剣」（検閲で一部削除）などの「傾向映画」を監督、現代的な感覚をもった新しい「時代劇」の歴史を開き、

海軍軍縮条約1930＝32歳：「興亡新撰組」「大岡政談魔像編」までに、主演した大河内伝次郎は「時代劇」の大スターに育つが、

満州事変・・・1931＝33歳：「御談次郎吉格子」を監督。トーキー時代に入り、

五一五事件・1932＝34歳：同郷の井上正夫を主演にヴィクトル・ユーゴー原作「噫 無情」全二巻を監督。元々奔放な性格で映画会社とトラブルが多かった上、思想的に当局の弾圧の対象になったこともあって、監督として不振を極めるが、

帝人疑獄事件1934＝36歳：〔第一映画社〕に転じ、

芥川直木賞始1935＝37歳：衣笠貞之助監督「雪之丞変化」の脚本はじめ、シナリオ作家としてはいくつかの名作を残し、

二二六事件・1936＝38歳：〔新興キネマ〕へと転じる。伊丹・衣笠・村田実・牛原虚彦と連名で〔日本映画監督協会〕を設立。

日中戦争始・1937＝39歳：

日米開戦・・・1941＝43歳：

・・・1942＝44歳：〔大映〕に籍を移すが、嵐寛寿郎主演「鞍馬天狗」監督の一本に終わる。

創価学会検挙1943＝45歳：片岡千恵蔵主演で「宮本武蔵 二刀流開眼」を監督するなど、時代劇スタアを育て上げながら、時代劇人氣を支え、以後も、年に一本のペースで新作を撮り続ける。

敗戦・・・1945＝47歳：

新憲法施行・1947＝49歳：戦後は阪東妻三郎主演の「素浪人罷通る」で再出発し、

極東裁判判決・1948＝50歳：*阪東妻三郎主演で、傑作「王将」を製作、健在ぶりを示し、その後のライフワークとなる。

朝鮮戦争始・1950＝52歳：東横映画で、戦前のリメイク版「レ・ミゼラブル あゝ無情」を監督。

独立回復・・・1951＝53歳：阪東妻三郎らオールスターを迎えて、松竹30周年記念映画「大江戸五人男」を製作し、人氣を博す。

マーゲ-事件・1952＝54歳：

55年体制始・1955＝57歳： 辰巳柳太郎主演にリメイクした「王将一代」、

インストレーメン・1958＝60歳：大映スター市川雷蔵のために、大映京都で「弁天小僧」、

安保闘争・・・1960＝62歳：続いて「切られ与三郎」を監督し、歌舞伎の様式美を意識した映像で評価される。

タイタイ病始・1961＝63歳：「反逆児」でアイドルスター中村錦之助を起用し、演技力と格調をそなえた大スターに仕立て上げる。

全国総合計画1962＝64歳： 三國連太郎主演に「王将」2度目のリメイク。

大学紛争始・1965＝67歳：雷蔵主演「眠狂四郎シリーズ」の「眠狂四郎無頼剣」と、

いざなぎ景気1966＝68歳：勝新太郎主演「座頭市シリーズ」の「座頭市地獄旅」に脚本を提供、大映の2大シリーズにも関わる。

大阪万博・・・1970＝72歳：*中村錦之介・三船敏郎らの共演の大作「幕末」監督を最後に映画から遠ざかり、

以後は、主に萬屋錦之介の舞台劇の脚本と演出に力を注いで、

石油ショック1973＝75歳：

田中角栄逮捕1976＝78歳：著書に加藤泰編「時代劇の詩と真実」。

革新大敗北・1979＝81歳：

・・・1981＝83歳： 没した。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、インターネット、